

---

# ちまちまエッセイ集

鈴木

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ちまちまエッセイ集

### 【Nコード】

N0348Q

### 【作者名】

鈴木

### 【あらすじ】

ちまちまと高校生の私が日々思っていることを書いていきます。自己満足用メモみたいなもので「エッセイ」というか「日記」みたいかもしれませんが。たぶんろくなこと書いてません。

## 電車の中で（前書き）

エッセイ第一弾、初っ端からいやゝな感じですよ（笑）

## 電車の中で

電車に乗ってていつも思うのは、いろいろな人がいるなあということ。

今の今までジョギングしていましたがみたいな人とか、渋谷でカリスメイク師やってますみたいなギャルの方とか、今釣りから帰ってきたよ今夜は焼き魚だみたいなおじいちゃんとか。

いろいろな人との出会いの場だと思うんだ。皆それぞれの人生を生きていて、それぞれ違う考え方があっていいことだ。

でも個人的に、あまりかわりたくない人種の方たちがいる。

今日電車に乗って、久々に席に座ったら正面の女の子3人組が何やら笑い出した。最初は自分の容姿を笑われているのかと思い、お気に入りの本を出して必死で知らんぷりをしていたのだが、どうやら違うらしい。

よくよく話を聞いてみれば、私の隣で寝ている男の子がかわいいとのこと。

なんだ、と胸をなでおろてちらりとその子たちを見てみれば、（こいつでは申し訳ないのだが）「いかにも最近の高校生」みたいな格好をしている。一人は金髪でキヤハキヤハと電車の中で大笑い。同車両の端の人が振り向くのを、私は自分の事のように恥ずかしく思った。

正直なところ私はこのような人たちが苦手だ。もちろん、仲良くなってみればそれぞれの良さが解って、そのような考えがなくなるのだろうが、どうも私は「偏見」が強く、第一印象でその人のすべてを決めてしまうようなところがある。悪い癖だ。

でも、もう少し静かに、もしくは電車を出てから、笑ってくれれば

いいのにな、と思ったのも事実だ。というのも、実はその男の子の隣には彼の家族が座っており、母親の方はあまり気持ちよさそうな表情をしていなかったのだ。

笑い方と容姿ですべてを決めてしまうのはまずいと思うが、やはりああいう人は苦手だな、と思いながら、私は電車を降り、改札口に向かった。

すると、何やらお年寄りが困っているのを助けている子が目に入る。さっきの大声で笑っていた子だ。

こうして私は、今度は彼女を「いい人」と思い込む単純な子なんだなあ、と自分をちよつと悲しく思った野と同時に、ああ、あの子いい子だ抱きしめてあげたい、と思った。そんな、今日この頃。

## 電車の中で（後書き）

うまくまとまらなかった…要するに私は単純ですよーっと。  
（、；）

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0348q/>

---

ちまちまエッセイ集

2011年1月12日20時26分発行